

工学部環境建設工学科 4 回生の長井春希さんが 2021 年度土木学会四国支部第 27 回技術研究発表会で優秀発表賞を受賞しました【2021 年 5 月 29 日（土）オンライン開催】

令和 3 年 5 月 29 日（土）にオンラインで開催された「2021 年度土木学会四国支部第 27 回技術研究発表会」において、工学部環境建設工学科 4 回生の長井春希さんが「優秀発表賞」を受賞しました。

本賞は、土木学会四国支部主催の技術研究発表会における優秀論文の口頭発表者を優秀発表賞として表彰するものであり、特に優れた講演を行った 40 歳未満の若手研究者や技術者を対象に与えられるものです。今回は 165 編の発表の中から 14 名が表彰されました。

発表した論文の題目は「鉄筋コンクリート梁の超音波測定による曲げによるひび割れと不可視損傷の評価」です。社会インフラメンテナンスが重要な課題となって久しいですが、既存の鉄筋コンクリート構造物にある見えるひび割れのほか表面には見えない潜在ひび割れの有無や密度を超音波測定により効率よく評価する手法の開発を目指した予備的研究です。工学部社会インフラメンテナンス工学講座（寄附講座）兼務の森伸一郎准教授の指導を受けて、長さ 5.5m の大型の試験体を用いて、3 回生で RA（リサーチアシスタント）として研究室配属され実施した研究で、4 回生になり卒論研究で継続実施する長井春希君が発表しました。ひび割れの評価と言うコンクリート構造物の基礎的事項でありながら、損傷評価と対策効果評価に発展性のある研究内容ときめ細かな実験、発表のわかりやすさなどが評価され、今回の受賞に至りました。実際の現場で使えるような単純な原理で評価することを意図したもので、今後が期待されます。



関連サイト：

令和 3 年度土木学会四国支部技術研究発表会優秀発表賞受賞者 HP

<http://www.jsce7.jp/happyou/yusyuR03.pdf>

2021 年度土木学会四国支部第 27 回技術研究発表会

<http://www.jsce7.jp/kizi/20210525a.pdf>